



成果指標				
成果指標	全児童数／児童用パソコン台数			
指標設定の考え方	IT新改革戦略における教育情報化の主な目標値			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	3.6人／台	3.6人／台	0	0
実績	6.8人／台	0	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	各学校、ITを活用した授業を実施することにより、初等教育の段階から情報活用能力の向上に寄与している。今後はタブレット等一層多様化するIT機器を活用して教育活動を推進することが望まれる。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	必要な機器を整備、維持管理することで、児童の情報活用能力の向上を図ることができている。今後、ITの技術的進歩に対応した整備についても検討していく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題